



祝 初代「みやぎSDGsアンバサダー」認定!

「わたしのSDGs活動宣言2022」Vol.4



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」の考え方を軸に、宮城県内の企業や個人が協力体制を築き、より豊かな地域づくりを目指す取り組みです。その推進役となる人材「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラム「みやぎSDGs(えすでーズーズー)塾」が、2021年11月から開講されています。



賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318



SDGsの目標11「住み続けられるまちづくりを」の達成を目指す行動として、「地域の魅力を知ること」、「災害のリスクを知ることに」着目しました。「知る」ということは、誰もが今日から取り組めるSDGs活動のひとつです。

首都圏への人口の一極集中は、地方の衰退を招き、その地域は『住み続けられるまち』ではなくなっていくと見えます。「地域の魅力を知る」人が増えれば、地域活動や地方移住への関心になります。そして地域に関わる行動が、その地域の活性につながります。

日頃から、防災意識を持つことも大切です。過去の災害を知り、「災害のリスクを



農業に従事していた頃はあまり考えもなかった食品ロス問題。今は、「根菜の皮や葉はどうしたら余さず食べられるのだろう」と考えています。生産側から消費側になったことで食材の大切さを再認識しました。どちらも経験しているからこそ、両者をつなぐ取組みができないかと考えています。

農業に従事していた頃は、規格外や取れすぎた野菜を廃棄することが多々ありました。たまに知人に配ることもありましたが、何せお天気仕事ですので売れない商品のことまで考える余裕はありませんでした。

SDGs17のゴールの2番は「飢餓をゼロに」。世界的な問題のみならず、国内で



働きやすさについて、就職活動を通して調べていると、事例がいくつも出てきます。ふと気になったのは、「この取り組みを誰が主体となって行っているのだろうか」ということでした。もし、私がSDGsの取り組みに携わるメンバーになったら、「何ができるのか」「所属する企業に何を求めるか」について考えたいと思います。

SDGsは、「こうあって欲しい」を実現するものだと思います。女性なら「育休制度等で男女平等を」、男性なら「働き方改革によって、残業が減らす」、その願いが叶い、不満が解消することを望まない人がいるでしょうか。この「こうあって欲しい」に取組むこと、SDGsの目標の

「知る」というSDGs活動を

WACO CREATE 岩村優香さん

理解」しておくことが、万が一の時の正しい行動につながります。その行動は、有事の際に「住み続けられるまち」すなわち生活ができるまちへと回復させるための力になります。

私たちの事業は「発信」です。WEBサイトや動画などを通して、「地域の魅力」や「災害のリスク」を伝えることができます。これまでも、地域プロモーションやイベント、東日本大震災に関連する「発信」に携わらせていただきました。

多くの人とともに、「知る」というSDGs活動を。今後も引き続き、私たちは情報を「発信」し続けていくことを宣言します。



立場が代わって感じたSDGs

おおさき地域創造研究会 伊藤竜太さん

も課題となっています。私がSDGsの観点で行動をする際には、これまで培ってきた農家とのネットワークを最大限に使い、新鮮な野菜を必要とする皆さんにお届けする仕組みをつくりたいです。また、当法人での業務経験を生かし、話し合いの場づくりをしながら活動をしてまいります。

基本的に足がはやい野菜たちをどう届けるかが課題となりますが、みやぎSDGs Farmで集った皆さまなど意見交換をし、連携できる術を模索していきたいと思えます。多くの皆さんに支えていただきながら、生活が成り立っていると日々感じています。私ができることをしっかりと考えながら歩んでいきたいと思えます。



働きやすさとSDGsと私たち

尚絅学院大学 丸山結子さん

5、8、10番の3つの実現に近づきます。身近な場所からの取り組み、それが社会を変えていくことにつながります。

私が社会人になったら、自分が入社した会社には、この「こうあって欲しい」を会社全体で共有したいと思えます。私がまだ気づいていないライフステージ上でおこる様々な悩みや不安、キャリア形成のプロセスで生じる問題、事業活動の持続可能性に向けての課題など。人は「知る」と「一気にする」ようになります。それが、変革への一歩だと思えます。

今の私ができること、それは人とつながること、そして伝えること。私はSDGsを広めることを通じて、誰もが働きやすい社会をつくりたいです。

